

目次

口 絵

発刊にあたって……………松山市長 田 中 誠 一

編集について……………松山市史編集委員会 代表 景 浦 勉

凡 例

自然編

概 説

第一章 自然環境

一 位 置……………7

数理的位置 関係位置

二 地質と構造……………9

1 地質の歴史……………9

久谷町中組の大断層(中央構造線) 久谷町蘇川の伊予の青石(三坂川変成岩類)

窪野町の四国炭鉱(久万層群) 三坂峠付近の流紋岩(石鏡層群) 青波町付近

	の油石(領家変成岩類)	石手川流域の花崗岩(領家花崗岩類)	道後姫塚の動物化石群(和泉層群)	松山城の地質	大峯ヶ台の凝灰岩類(和泉層群)	泊町の植物化石群(興居島層群本浦層)	太山寺山の松山溶結凝灰岩(興居島層群黒崎層)	御幸寺山などの瀬戸内火成岩類岩類	重信川流域の河岸段丘	松山平野の構造	鈹物	2						
	地震動災害.....37																	
	三 地形の成り立ち.....40																	
	松山平野の形成史	松山平野の地形	小野川扇状地	石手川扇状地	三津浜低地と海岸地形	堀江地溝帯						40						
	四 水系・温泉.....51																	
	1 水系.....51																	
	河川と水源	重信川水系の自由面地下水	重信川の流路変遷	内川と小野川の水利	石手川の流路変更と水利						51							
	2 温 泉.....64																	
	道後温泉	奥道後温泉郷の開発	東道後の温泉郷	権現温泉	潮見温泉						64							
	五 気候と自然災害.....76																	
	1 松山の気候特性.....76																	
	グローバルにみた松山の気候	瀬戸内海・海岸の気候	松山の都市気候								76							
	2 四 季.....101																	
	季節とは	季節区分	春	夏	秋	冬					101							
	3 気象災害.....127																	
	江戸時代からの気象災害	近年における気象災害の季節性									127							
	第二章 生物界.....137																	
	一 植 物.....137																	
	1 松山城山の森.....137																	
	植物相	森林相	森林の変遷	登山道での植物							137							
	2 植物の種類と分布.....168																	
	(1) 各地の植物.....168																	
	石手川堤	重信川堤防とその付近	湧ヶ淵自然公園	興居島と釣島	吉田	浜海岸埋立地	太山寺付近	杉立付近	福見山	米野々演習林	北三方	ケ森	三坂峠	街路樹	帰化植物	キノコ	海藻	210
	(2) 特に注目すべき植物.....210																	
	松山市で発見されたタイプ植物	寄生・腐生・食虫植物	絶滅または絶滅に近い植物	太山寺のねじれ竹							217							
	(3) 身近な巨樹名木.....217																	
	3 森林植生.....228																	
	(1) はじめに.....228																	
	(2) 古代の森林(原植生).....229																	

(3) 現在の森林（現存植生）——主な森林群落……………233
 アカマツ林 クスノキ・ホルトノキ林 ツブラジイ林 カシ林 落葉広葉樹
 二次林 ムクノキ・エノキ林 竹林
 (4) 鎮守の森（身近なすぐれた植生）……………247
 古代の植物と動物……………259
 古照遺跡より出土の植物遺体 宮前川遺跡出土の植物・動物遺存体

二 動物

1 哺乳類……………267
 2 鳥類……………270
 重信川河口の鳥類 鳥の集団ねぐら 空港の野鳥と航空機のトラブル 山地
 周辺の鳥 松山市と鳥
 3 は虫類と両生類……………293
 4 魚類……………296
 水揚げされる魚類 三津の朝市と瀬戸内料理 小説「坊っちゃん」のゴルキはギ
 ソのこと 重信川下流と石手川の魚類相
 5 昆虫類……………302
 はじめに 種目（鱗翅目 鞘翅目 半翅目 蜻蛉目 直翅目） 松枯れ
 とカミキリの防除 市の秋の虫を聞く会
 6 水生昆虫類……………327
 川の水生昆虫 松山地方の川について 水生昆虫類の現状 水生昆虫類から

原始編

概説

第一章 文化のあけぼの

一 後期更新世の自然環境……………376

更新世と旧石器時代 後期更新世の景観 植物相と動物相 旧石器と火山灰
 瀬戸内海の誕生

二 松山平野の旧石器時代の遺跡と遺物……………383

旧石器時代の遺跡 松山平野の旧石器 石器の特色 旧石器時代の終焉

第二章 縄文文化

一 自然環境の変化と縄文土器……………391

1 縄文海進と海水準の変化……………391
松山平野の形成

2 気候の変化と生物相……………396
植物相の変容 動物相の変容

3 縄文土器と時期区分……………401
土器の誕生 時期区分 松山平野の土器編年 縄文草創期の土器 縄文早期の土器 縄文前期の土器 縄文中期の土器 縄文後期の土器 縄文晩期の土器

二 縄文前半期の文化と松山平野……………420

1 草創期・早期の遺跡と文化……………420
土器と線刻礫の文化 弓矢の使用と無文土器文化 押型文土器文化 無文と大型楕円文土器文化 愛媛の縄文人

2 縄文前期の遺跡と文化……………428
前期遺跡の立地と遺構

3 縄文中期文化……………431
少ない中期遺跡

三 縄文後期の遺跡と文化……………432

1 急増する後期の遺跡……………432
貝塚の形成 河岸段丘の遺跡 扇状地上の遺跡 低湿地上の遺跡

2 後期の人々の生活と社会……………441
複合する遺跡 遺物から見た生活 遺物と文化交流

四 縄文晩期の文化……………445

1 遺跡立地の継続と縄文文化の終末……………445
後期遺跡から晩期遺跡へ 松山平野南部の晩期文化

2 新しい文化の胎動……………450
台地から低地へ 新しい道具

3 船ヶ谷から大洲へ……………457
晩期遺跡の立地 遺物からみた生活 石器交易

第三章 弥生文化

一 自然環境の変化と時期区分……………463

1 地形と気候の変化……………463
松山平野の海岸線 気候と稲作 動植物相

2 弥生土器と時期区分……………468

時期区分 期の土器	新しい土器と種類	弥生前期の土器	弥生中期の土器	弥生後
二 農耕の開始……………482				
1	稲作と定着集落の成立……………	稲作のはじまり	山から平野へ	移動生活から定着へ
2	弥生前期の生活と社会……………	弥生前期の自然経済	土器の多様化	石器の変遷
3	弥生前期の松山平野……………	濠状遺構	壺を用いた墓制	土墳墓を中心とした墓制
前期の遺跡立地	前期文化の地域性	墳墓からみた特色	松山平野の外来文 物	
三 農耕社会の発展……………505				
1	村々の成立と発展……………	金属器の登場	鉄器の特性	松山平野の鉄器
2	地域文化の成立と交流……………	ムラから大きいムラへ	中期の住居跡	集落の移り変わり
3	弥生中期の生活……………	高地性集落の出現	釈迦面山と大峰ヶ台	凹線文土器
		形土製品	打製石庖丁の増加	中期の祭祀
				分銅

激増する中期遺跡	海の遺跡	食生活	木器の使用	衣類と装飾品	工
人集団の活躍	中期の墓制				
四 農耕社会の拡充と小国家の成立……………546					
1	鉄器の普及と農耕地の拡大……………	弥生後期の遺跡	鉄器の普及と農耕地の拡大	後期の住居	
2	平形銅剣文化圏……………	松山平野の青銅器	銅鏡と銅貨	地下に眠る青銅器	釜ノ口の生活
3	弥生から古墳期へ……………	の墓制	壺棺墓	土墳墓と供献土器	方形周溝墓
		弁天山山麓での生活	絵のある土器	河岸の祭り	宮前川周辺の人々の生活
		到来土器			

第四章 古墳の発生

1	古墳の成立とその移り変わり……………	古墳の成立	古照の生産遺構	三つの井堰	高床式建物
2	古墳文化の発展……………	中期古墳の動向と中小古墳……………	中期古墳の特色	中期古墳の分布	高月山古墳
3					鶴ヶ峠古墳
					岩子山と茶

白山古墳	経石山古墳	お茶屋台と竹谷古墳	観音寺山古墳	釈迦面山古墳
土壇原古墳群				
2 農耕具の発達と使用				
鉄製農具の普及	古墳中期の集落内祭祀	古墳祭祀	木器の普及	
3 古墳中期の住民と集落				
集落の広がり	かまどのある住居	平地式住居と掘立柱建造物		
三 古墳文化の変貌				
1 前方後円墳の造営と三島神社古墳				
後期の前方後円墳	後期古墳群	西部と北部古墳群	東部古墳群	南部と伊予古墳群
箱形石棺				
2 後期古墳群の形成				
横穴式石室の導入	I期の横穴式石室	II期の横穴式石室	横穴式石室の発	
展	一墳丘多石室の古墳	方墳の出現	須恵器の生産地	須恵器生産のム
ラ	松山平野の埴輪			

古代編

概説

第一章 大和朝廷との交流

一 国造の時代	首長から国造へ	国造の系譜と職掌	和気系図にみえる別(和気氏)
二 大和朝廷と子代・名代の部	名代の集中する道後平野	長屋王家木簡にみえる刑部	日下部と航海部民
	長岡京出土木簡と矢田部	伊予郡の名代・白髪部	名代の設定と大伴氏
三 豪族所有の部民	物部・平群氏の部民	内廷にかかわる葛木部・鴨部	渡来系の部民
	航路と海部・阿曇部	大伴氏と結びつく久米部	道後平野と部民制
四 道後と大和朝廷	温泉の神秘化	湯の精霊と人格化	伊予風土記逸文の記事
	和朝廷と伊予石湯との伝承	聖徳太子の道後來浴の伝承	聖徳太子の伊予温湯
	碑	聖徳太子の事績	舒明天皇の来予の経過
			大化の改新と海外状勢の変化

第二章 律令成立期の道後平野

一 律令制の導入と地方豪族 700

白村江の戦いと律令制 評制の展開と地方豪族 伊予総領の役割

二 律令国家の発展 709

国郡制の成立 郡司の任用とその職務 伊予国造の系譜をもつ郡司 久味国造の系譜をひく郡司 譜第郡司と新興郡司の相剋 条里制の展開

三 律令制下の民衆と豪族 728

古代松山平野の人々 律令税制の概要 京進米と荷札木簡 荷札木簡の機能 交易される穀物 調庸負担の実態 海に生きる人々 調の貢進と海民 律令税制の変質 南海道と駅家跡

四 豪族の活動 745

松山平野の古代豪族 経師久米直熊鷹 律令官人熊鷹 久米・温泉郡の古代寺院 画工物部小鷹 九世紀の地方豪族

第三章 王朝国家の展開

一 式内社 755

延喜式神名帳の世界 松山平野の神々 神階叙位と九世紀の地域社会

二 荘園の成立 762

荘園化の波 和氣郡吉原荘 伊予郡余戸荘

三 武士の台頭 766

越智氏の武士団化 河野氏らの新興武士団 新居氏と別宮氏

第四章 古代の文化

一 仏教の発展 774

古代仏教の発展 松山平野の古代寺院 来住廃寺 古代寺院の瓦の特色 古代寺院造営の背景

二 光定と天台寺院 793

出自と修学 天台戒壇の樹立 别当光定と『一心戒文』 松山地方の天台寺院

三 古代の開創と伝える寺院 799

四 古代の文学 802

伊予の湯の神話 伝承 聖徳太子の伊予の湯碑文 万葉集と伊予 仏教説話 古代後期の文学

五 古代の産業 824

食器類 土師器 須恵器 松山平野の須恵器窯 松山平野の瓦窯跡 銭貨 製塩 木簡と墨書土器 久米窪田の生活

中世編

概説

第一章 武家政権成立

一 源平両氏の抗争 842

平氏の発展 平氏の家人 河野氏の挙兵 競合する豪族たち 通信の動静

二 承久の変と河野氏の悲運 853

源頼朝没後の朝幕関係 承久の変における河野氏の向背 河野氏の敗北とその

影響

三 元寇と河野通有の奮戦 859

河野通久・同通継の治世 蒙古フビライ汗の野心 海浜の防衛と河野通有の出征 志賀島の激戦と通有 通有による西海々賊討伐 弘安の役後の措置

第二章 鎌倉時代の文化

一 鎌倉新仏教と一遍 865

庶民仏教の完成 出自 修学 ひじりの道 成道地窪寺 第二の成道地 熊野 遊行のひじり 念仏勧進はわがいのち 鎮魂の旅 臨終

二 中世寺院の動向 882

浄土宗 禅宗 真言宗 日蓮宗

三 鎌倉時代の建築工芸 885

大陸の仏教建築文化の導入 現存する建築遺構

四 鎌倉時代の文学 891

一遍と文学 一遍の和歌・連歌 一遍の法語 一遍の登場する作品

第三章 河野氏の伊予統治

一 元弘の変と伊予豪族の向背……………897

鎌倉幕府の衰退と土居氏らの挙兵 河野通盛の鎌倉幕府援助 建武新政の崩壊
と通盛の再起 尊氏・直義の東上と通盛の出兵

二 河野氏政局の安定……………903

伊予国官方との抗争 懐良親王の渡航と通盛の襲撃 伊予国守護職補任 幕府の内訌と通盛の動静 南朝の京都占領と幕府方の反撃 伊予国における通盛の活躍 通朝の継承と細川氏の侵入 善応寺の創建

三 河野通堯の南朝帰属と細川氏との抗争……………912

河野通堯の伊予国脱出 征西府へ帰順 通堯の帰国と活躍 細川頼之の動向
と通堯の対策 細川氏の侵入と通堯の戦死

四 河野通義・同通之・同通久の治世……………919

亀王丸の継承と将軍義満 明徳の乱と通義の逝去 通之と応永の乱 河野通久の継承と九州の騒乱

第四章 戦国の動乱

一 応仁・文明の乱と河野氏……………925

大乱始まる 通春上洛 教通の動き 通春の死 文化人通直 続く内紛

二 領国支配の動揺……………938

相つぐ反乱 「河野父子不快」 大物崩れ 幕府への依存 鳥坂峠の戦い

三 湯築開城……………949

牛福丸(通直)の家督継承 大友氏・長宗我部氏の侵略 四国平定 河野通直の死

四 中世の城郭史……………958

第五章 室町時代の文化

一 仏教と寺院……………971

四国遍路 寺院建築

二	キリスト教の受容	978
三	室町時代の文学	983
	太平記と松山	
	菟玖波集と伊予	
	大山祇神社法楽連歌	
	執筆分担	989
	あとがき	991

松山市史 第一卷

人名索引

第1巻

あ	3
か	3
さ	4
た	5
な	5
は	5
ま	6
や	6
ら	6
わ	6

第2巻

あ	7
か	8
さ	8
た	9
な	9
は	10
ま	10
や	11
ら	12
わ	12

第1巻 人名索引

この人名索引は「松山市史」第1巻のうち歴史編（古代・中世）のなかから選んだものである。

【あ】

吾川三郎	845
足利高氏	899,900
足利尊氏	901,902,906,907,908,909
足利直冬	906
足利直義	900,901,902,903,905,906,907
足利義詮	908,909
足利義政	926
阿曇連比羅夫	682
阿曇部太隅	681,730,740,742
穴穂御子→穴穂部皇子	806,807
天津米命	660
天津久米命	684

【い】

一条兼定	951
一遍→一遍上人	859,866,867,868,873,875,876,877,878,879,881,882,891,892,894,895,896
伊予連時兼	713
伊與主命	660
今岡通任	912,913
伊与部連家守	715
伊予部連馬養	715
伊与部連真貞	715
伊豫麻呂	678

【う】

浮穴直千継	718,730
味酒部稻依→平群味酒臣	674,713,745
宇都宮豊綱	949

【え】

円伊	891
恵慈	692,693,695
恵総	692,695

【お】

大己貴命→大国主命	687,690
大久米命	718
大内義興	937
大内教弘	925
大内政弘	925,928
大内持世	923
大内義弘	921,922
大友義鎮（宗麟）	948,951
奥平貞虎	904
越智直	661
越智玉興	886
越智玉純	888
越智通重	985

【か】

ガスバル・コエリュ	981
加藤嘉明	883,884,885
懐良親王	904,905,913
亀王丸→河野通義	919
軽太郎女	805

【き】

木梨の軽太子→軽皇子	697,805
木曾義仲→源義仲	852
景戒	667
北畠親房	905

行基	976
【 く 】	
クリストヴァン・デ・レアン	981
日下部猴	667
空也	878, 882
楠木正成	897, 901, 902
楠木正行	905
楠木正儀	909
忽那氏	897, 914
忽那重勝	904
忽那重清	900
忽那重澄	914
忽那義範	904
忽那通恭	941
忽那通定	985
久米直熊麿	684, 717, 718, 730, 746 747, 748, 749
米目部小楯	683
【 こ 】	
光定	793, 794, 795, 796, 797 798, 799
河野鬼王丸	920
河野亀王丸	919
河野氏	848
河野親清	846
河野教通→河野通直	925, 928, 929 930, 931, 933
河野晴通	944
河野通秋	929
河野通篤	936, 937
河野通有	861, 862, 863, 898
河野通生	928
河野通清	769, 770, 846, 851, 867, 883
河野通末	856
河野通堯→河野通直	912, 913, 914 915
河野通賢	944
河野通継	859
河野通時	884

河野通俊	856, 859
河野通朝	908, 910, 911
河野通直 (通堯)	913, 941, 942 944, 945
河野通直 (牛福丸)	950, 951, 981
河野通直 (彈正小彌)	939, 940, 950 958
河野通直 (教通)	984
河野通信	845, 846, 850, 851, 852, 853 856, 859, 867, 880
河野通宣 (刑部大夫)	936, 976, 984
河野通宣 (左京大夫)	944, 945, 949 950, 952
河野通治→河野通盛	898
河野通春	925, 928, 930, 932, 985
河野通久	859, 911, 922, 924
河野通秀	855
河野通広	859, 867
河野通政	855, 856, 859, 940, 941, 942 944
河野通将	904
河野通盛	897, 898, 899, 900, 901, 902 903, 904, 905, 906, 907, 908 909, 910, 911
河野通之	920, 921
河野通行	909
河野通義 (通能)	920, 921
高師直	906
小早川隆景	948, 954, 955, 956, 969 981
小早川宗平	922
後醍醐天皇	898, 899, 902
【 さ 】	
ザビエル	979
西園寺公俊	918
齊明天皇	793, 812, 813
左少将胤房	915, 916
【 し 】	
シモン (田原親虎)	981

重見通勝	915
斯波義将	916, 922
聖戒	866, 891
聖光	882, 883
聖達	867, 868, 869, 874
聖徳太子	656, 676, 691, 692, 694, 695
寂仙	817

【 す 】

少彦名命	690
捨聖→一遍上人	892
随縁→一遍上人	868, 869

【 た 】

平清盛	842, 843, 844
平重盛	843
平忠盛	843
平正盛	843
高市清義	845
高市源太秀則	852
高市図書允俊則	852
高市秀義	845
高市盛義	844, 845
多賀谷衆	920
田中法麻呂	656, 705, 706, 707
田原親虎	982
田部直五百依	749, 750, 753
為世流越智氏	847, 848

【 ち 】

智真→一遍上人	869, 870
長宗我部元親	947, 951, 952, 954
超一	875
超二	875

【 と 】

得能氏	859
得能通綱	884, 897, 900, 963
得能通俊	850

得居通幸	953, 956
土居通増	884, 897, 900, 963
土居通世	904
道基→河野教通	933
道治→河野教通	933
土居通安	985

【 に 】

新居盛信	850
仁木義尹	915
新田義貞	899, 901, 902

【 ぬ 】

額田王	812, 813, 815, 816
-----	--------------------

【 は 】

秦勝広庭	673, 678, 679, 752, 753
祝安親	897, 900
速後上命	660
春江宿禰→浮穴千繼	753, 754

【 ひ 】

平岡房実	948
------	-----

【 ふ 】

フビライ汗	860, 864
藤原長清	893
藤原純友	657

【 へ 】

ペドウロ・パウロ	981
別府氏	859

【 ほ 】

北条高時	897
北条時直	897, 898

北条時宗	860,878
北条義時	854,856
細川勝元	925,926,933
細川清氏	909,910
細川氏	912
細川高国	943
細川頼之	909,910,916
細川頼春	905

【ま】

正岡紀伊守経貞	939,940
真野長者	887

【み】

源範頼	852
源義経	852
源義朝	842
源頼朝	845,846,847,853,854
源頼義	846

【む】

村上(来島)通総	953,956
村上通康	940,941,948
村上義弘	912,913
村上武吉	953

【も】

毛利元就	948
物部小麿	673,674,751,752,753
黙翁士徹	911

【や】

山名氏清	921
山名宗全(持豊)	925
山名満幸	921
山部赤人	815,816

【よ】

善道宿禰	716
良成親王	915,916

【る】

ルイス・アルメイダ	980
ルイス・フロイス	956,957,979,980

【わ】

若日下部廣嶋	668
脇屋義助	905
和田通興	942

第2巻 人名索引

この人名索引は「松山市史」第2巻近世編のなかから選んだものである。

【あ】

背地彫業	135,139,140,141,142
浅山勿斎	285,296,299,303
足立重信(半右衛門)	4,21,22,27,28 170,177,180
天野月弓	133
天野伝兵衛	383
有馬平兵衛	411
安国寺恵瓊	6

【い】

井口頼兵衛	409
池内貞輔	402
伊崎庄右衛門	385
石井義郷	505,608,610,612,615
泉屋	421
泉屋与市	420
一茶	474,478,479,480,481,504
一色義十郎	385,386
一泉	139
一遍	118,119
井手家	436
井手若狭守	172,174
伊藤子礼	502
伊藤祐根	412,413
伊奈平左衛門	459
伊能忠敬	377,379,380,381,382,383
井原西鶴	132,137

【う】

上島鬼貫	132,137
宇佐美源兵衛	196
宇佐美淡斎	461,468,504

内海淡節	604,605,606
------	-------------

【え】

遠藤広実	495
------	-----

【お】

大友宗麟(義鎮)	9
大川文蔵	4,170,213
大月履斎	283,284,463
大野約庵	505
大原観山	464,467,485,602
大原其戎	604,605,606,607
大升屋喜右衛門	455
大山為起	109,142,143,144,145
大山正康	143
大淀三千風	131,134
岡西惟中	132,133
小川九十郎	523
奥平貞臣	517
奥平久兵衛	286
奥平貞国	4,283,285,287
奥平貞継	282,285,288,296
奥平貞幹	288,289,385,567,568,570
奥平貞操	561
奥平昌蔭	517,519
小倉志山	155,157
小倉正信	109,145,146
尾崎荘左衛門	459
尾崎時春	460
越智背庵	141,142
越智擲瓢	141
大石主税良金	94
岡野金右衛門包秀	94
大高源五忠雄	94

第1巻 件名索引

この件名索引は「松山市史」第1巻のうち歴史編（古代・中世）のなかから選んだものである。

【あ】

吾川郷	742
明沢城	967
明沢城跡	966
朝生田廃寺	657,775,779,829,830
阿沼美神社	657,757
天山	808
天山郷	684,717
海部郷	668,671,711,740
海部里	665,670,671,680,711,725 740,832

【い】

伊予連→伊予部連氏	714,716,721
伊佐邇波	809
伊佐爾波岡	692,694
伊佐邇波岡	693,694
伊佐爾波神社	693,694,695
石井郷	671,675,680,681,740
石田郷	675
石手寺	800,801,935
石手寺址	775,779
石手寺訶梨帝母天堂	891
石手寺観音堂	978
石手寺護摩堂	974
石手寺五輪塔	891
石手寺三重塔	889
石手寺鐘楼	890
石手寺二王門	888
石手寺本堂	889
石手寺絵図	975
伊曾能神社	659
一心戒文	798
一遍上人縁起絵	891

一遍上人窪寺閑室跡碑	872
一遍上人語録	876,881,894
一遍聖絵	866,873,874,876,880,891 892,896
一遍立像	935
井門郷	683
尉之城跡	965
蔭涼軒日録	911
岩伽羅城	942
伊予古蹟志	975
伊予温湯碑（いよのゆのひ）	693,810
伊予温故録	859
伊予郡郷俚諺集	904
伊予郡余戸社	765
伊予神社	757
伊予籠	819,986
伊予豆比子命神社	757
伊予豆彦命神社	758,759
伊予国守護職	913,917,919
伊予国風土記	688,689,690,691,696 698,775
伊予の湯	802,803,804,805,806,808 813,815,817,819,823
伊予の湯桁	820
伊予湯築古城図	904
岩屋寺	873
院政	854

【う】

上野廃寺	775,782
内代廃寺	775,778
味酒郷（うまさけごう）	674

【え】

荏原城跡	960
烏帽子親	844
恵良城	912,928
円明寺厨子	977
円明寺八脚門	977
延喜式	657,755,759,761

【お】

大空城（岩子山城）	912
応永の乱	921
応仁記	927
応仁・文明の乱	925
大友城跡（大砥城）	965,963
大山祇神社（大山積神社）	984
踊り念仏	880
小野悪社窯跡	830
小野古窯跡群	829

【か】

かき上げ土塁	959
かわらが鼻窯跡	830
花営三代記	918
上吾川古泉廃寺	775,790
鴨部郷	677
川村郷	670,671,680,711,740
瓦窯跡	830
看聞御記	924
神戸（かんべ）	755
関東下知状	848
観音寺山古墳	659

【き】

来住高畑遺跡	834
来住廃寺	657,717,728,750,775,784 786,788,829,830
衣山窯跡	830,831
経石山古墳	660

【く】

空也上人立像	882
空也谷	882
空也松	882
忽那島相伝之証文	900,904
国侍	845
窪寺	870,873
熊野	873
熊野権現	874,877
久米窪田II遺跡	830,832,833,834
久米郷	683
久米高畑遺跡	702,708
久米寺	684,775
久米評	656,702,726,750
倉橋郷	669,671,711
黒瀬城	952
軍勢催促状	906
軍勢催促御教書	902,903,905,906 907,908,909
弘願寺（ぐがんじ）	883

【け】

建武の新政	899
献物叙位	745
元（元朝）	861

【こ】

弘安の役	861,864
河野家代々繪旨御教書等写	910
河野家文書	913,914
河野通宣（左京大夫）の花押	945
国司	844,845
国幣社	755
国家仏教	865
子代	664,665

【さ】

幸門城	940
佐志久原	918

三韓征伐	691
【し】	
正税出挙帳	733
式内社	657,755
重見家文書	913
四国遍礼霊場記	973
守護職	934
承久記	855
所領安堵状	901
拾遺風体和歌集	892
四国遍路	971
荘園	762,764,765,766
蔗軒日録	911
諸家文書纂	908,910
神階叙位	759,761
新興武士団	768
新張城	961
新撰姓氏録	660,678,682,716
時衆	875,876,879,881,882
地藏菩薩霊験記	896
浄土教	866
浄土宗	865,882,883
浄土真宗	865
浄土寺	882,883
浄土寺厨子	971
浄土寺本堂	976
性尋寺(金蓮寺)	936
条理制	722,723,725,726,727,958
【す】	
水里玄義	934,935
須恵器	824,826
須恵器窯	828
朱砂(すき)	752
【せ】	
製塩遺跡	832
世田山城	905,910,912
千軒廃寺	775,781

仙遊寺	936,937
善応寺	910,911
善応寺縁起	911,912
善応寺文書	911
禪宗	865
禪時論	894
青磁(中国)	969
【そ】	
造東大寺司写経所	747
雑任国司	767
染付赤絵(五彩)	969
【た】	
大宝寺	799
大法寺	884
大宝寺本堂	886
太山寺	801
太山寺二王門	889
太山寺本堂	887
體源抄	820
高外木城(高峠城)	915
高繩山城	851,903,912
橘樹郷(たちばなごう)	673,737,738
縦測城	859,961,962,903
谷田IV遺跡	831
樽味立添遺跡	831
大乘院日記目録	927
大乘戒壇	795,796
大物崩れ	943,944
駄場姥ヶ懐窯跡群	829,830
太平記	983
【ち】	
長久寺	884
長建寺	883
長州河野文書	908
長生寺	957

【つ】

月刈藻集	896
築山本河野家譜	861,863,906,907,909
	911,912,914,937
菟玖波集	894,983

【て】

天徳寺	883
天目碗	969

【と】

東寺百合文書	928
東大寺	674
東福寺	763,764,765
鳥坂峠の戦い	947,948,949
道後温泉	686,690,691,804,812,881

【な】

中ノ子廃寺	775,780
中村廃寺	775,779
名代	664,665,672,685
長屋王家木簡	665,739
南無阿弥陀仏	881,892,895
長門探題	906

【に】

新居系図	771,772,844,845
二河白道図	870,871
熟田津	656,663,700,701,708,793
	812,814,815
日蓮宗(法華宗)	884
日本靈異記	661,751,774,817

【ね】

念仏勸進	878,882
------	---------

【の】

後鑑(のちかがみ)	905,906,907
	908,909
能美島	912

【は】

班田収授	730
拝志古窯跡群	829
萩藩閩閩録	914
白村江の戦い	656,661,699,700,701
	774
土師器	824,826
花見山城	915
祝(部)	757
速吸之門	681
梅松論	901
播州法語集	894
白磁(中国)	969

【ひ】

姫嶽城	924
姫塚	884
姫原郷	669

【ふ】

藤原純友の乱(承平・天慶の乱)	657
夫木和歌抄	893
不論院	883
仏殿城	954
文永の役	860

【へ】

平治の乱	842
別願和讃	895
別宮氏系図	773

【ほ】

方形館跡	958,959
宝巖寺	867,935
法楽連歌	933,936,984,986
星ノ岡	898
星の岡城跡	963
星の岡の戦い	983
墨書土器	832,833

【ま】

前川遺跡	833
万句連歌	985
万福寺	884

【み】

味酒郷(みさけごう)	766
港山城跡	966
湊山城	932
名号	895
名神大社	757
妙円寺	884
妙清寺	884

【む】

夢想連歌	984
------	-----

【め】

明徳の乱	921
------	-----

【も】

蒙古帝国	860
木簡	665,666,667,668,669,670,671 675,677,678,680,681,683,701 702,710,731,733,734,735,736 739,740,741,742,832

【や】

谷田抱括式館	961
山崎の居館跡	962

【ゆ】

湯釜	881
遊行	876,877,879
鞆負	667,672,718
湯桁	821,822,824
湯築城	695,903,912,954
湯築城跡	969
湯の岡の碑文	693,810,811
湯之町廃寺	657,775,777

【よ】

謡曲	896
予章記	861,863,899,900,901,905 909,910,911,912,913,914 935,937,941,949,950,954 957
予陽河野家譜	855,856,859,861,862 863,899,901,905,910 911,912,928,936,937

【れ】

嶺昌寺古墳	659
-------	-----

【ろ】

六波羅探題	898,899
-------	---------

【わ】

和名抄	709,710,758
和歌	892
和気郡吉原荘	762
和銅開珎	831

第2巻 件名索引

この件名索引は「松山市史」第2巻近世編のなかから選んだものである。

【あ】

赤穂浪士預かり	93
味酒山	21
阿沼美神社	29,100
白水郎子記行	133
改庄屋	223
安政の大地震	538

【い】

家賃場所(いえじちばしょ)	452,453 454
池内家記	538,541,558,559,560 561,583,586,588
異国船記録	546
異国船	555
異国船来航	547
伊佐爾波神社	62,63,506
石崎家文書	620
石鎚講	112
石鎚山	110
石手川	21,28,83,101,166,168,170 171,177,186
石手川井堰	172
石手川筋の用水配分	175
石手川氾濫	169,396
石手寺	28,113
和泉郷土誌	186
伊勢屋	510,511
一之井手	214
井手神社	174
乾一ノ門	363
乾門東続櫓	364
乾櫓	26,28
伊能忠敬日記抄	385

亥之助漂流記	610
今出舩(いまずかすり)	401
伊予川	22
伊予路測量	381
伊予名草	482,483,484
伊予国知行高郷村数帳	179,180,181
	182
伊予の湯下駄	482,483,484
伊予湯	165
伊予結城	399,400
岩堰	174

【う】

ウンカ	268,270
浮穴郡井門村地坪水帳	241
浮穴郡井門村田畑水帳	240
良門東続櫓	363
浦証文	425,621
馬指	330,331
浦上崩れ	591
宇和島県	5

【え】

ええじゃないか	572,574
英国測量船の来航	548
荏原城	20
愛媛県誌稿	443,444,453,455
円福寺	114
円明寺	119,120
延喜式内社	107
塩硝蔵	363
燕居偶筆	109,283,284,463